

河曲地区地域づくり協議会

広報 かわの

令和5年12月20日 第15号

河曲スポーツフェスタ

爽やかに

第40回 記念大会開催

国分が優勝

河曲にコロナ禍以前の明るさと元気さが戻ってきました。

令和5年10月22日（日曜日）、第40回河曲スポーツフェスタが開催されました。河曲各地区ではすでに、夏まつりで以前を取り戻したところ、直前の10月7、8日の秋まつりで盛り上がったところ、など種々ありましたが、今回はその勢いがそのまま河曲小学校のグラウンドになだれ込んだ感じで、これまでにない盛り上がりある大会になり

ました。

写真は開会式のもので、小学校々舎の3階から撮りました。万国旗の飾り立て、各地区のテント村、そして無風の青空のもとでの入場行進、と全部が写真映えする並びになっていました。

ということで今回の「かわの広報」は、主に写真で当日の雰囲気をお伝えします。日程は午前地区別順位に関わる得点種目「4種混合リレー」とか「でかばん・キャッチ」など10種目、午後は玉入れ、地区別混合リレー決勝、そして大抽選会と進行了しました。今年、優勝は国分地区でした。

バザーも盛況

フェスタ終了後、午後2時半から体育館で恒例の超バーゲンバザーがありました。地域の皆さんから寄せられた高価な「新古品」は結構な売れ行きだったそうです。

役員みなさま、お疲れ様でした。







河曲地区 サテライト型防災訓練 1539 名が無事を申告

無事の申告 11月5日

令和5年11月5日、午前8時を期して河曲地区16自治会で一斉に、災害発生時の迅速な互助共助体勢の確立を意図して「サテライト型防災訓練」が行われました。

この「サテライト型防災訓練」は、まず、第一の自助の課題をクリアしたあと、第二として所定の避難場所に出向いて無事を申告しつつ隣近所の安否の相互確認を行い、さらに第三として、それぞれの地域特性を踏まえた上で、一層の受援力向上を目指して、個別主体的な課題にとりくみ、一連の防災減災のための行動に体をなじませるためのものでした。

自治会という観点からの最優先事項は、その防災委員に無事を申告することです。ついで防災委員は速やかに地区防災センターにその状況を連絡することです。これにより、どこに救援を必要とする家が、人が、発生しているかの洗い出しができます。

今回、参加申告者数など以下のとおりです。

防災訓練 地区別参加者 R5.11.5

地区	人口 9月末	参加者	参加率 %
河田	398	95	23.9
野辺	1065	199	18.7
竹野	1883	161	8.6
山辺	326	68	31.6
ラウムズ		35	
木田	830	88	16.1
大谷		46	
国分	894	171	19.1
采女が丘	23	0	0.0
十宮	3308	393	11.9
須賀	1342	283	21.1
合計	10069	1539	15.3

飲料水を確保する

今回は、以上の従来型に加えて、受援力の向上の一環として現地で水を確保し、地元に持ち帰り、地区の被災者に水を配給して、いざという場合にあわてないよう経験値をたかめておく訓練を加えました。

11月5日、午前7時半を基準時として、各自治会から代表2名に河田町にある「河田送水場」に容器持参でかけつけ、タンク車から配給をうけていただきました。野辺の大型ポリタンク、他地区の小型ポリタンク、6リットル入りの携帯タイプなどいろいろ。本誌読者のみなさん、次頁の写真で確認して、その時に備えておいて下さい。





令和5年度 河曲公民館文化祭

4年振り大規模開催

舞台発表、作品展示、活動紹介の3部門で

令和5年11月11日（土）、12日（日）の二日間、河曲小学校体育館で令和5年度河曲公民館文化祭が開催されました。体育館での大規模開催は4年ぶりのことで、大盛況でした。

祭典は、各サークル活動の日ごろの成果について下記の通り、①舞台発表、②作品展示、③活動紹介の3形式で行われました。

①舞台発表 1. 河曲保育所らいおん組（鼓隊演奏と合唱） 2. 川崎会の民謡（米節など5曲） 3. 新舞踊（ふるさと山河など4曲） 4. 空手道糸東流（演舞） 5. うた仲間（早春賦など7曲） 6. 神戸中学合唱部（翼をくださいなど6曲） 7. 神戸中学吹奏楽部（インフェルノなど5曲） 8. ツボ・ヨガ 9. フォークダンス（シュルなど4曲） 10. カラオケしゃくやく（女の舟唄など5曲） 11. 絆〜一期一縁〜

②作品展示 1. 書道（出展8名） 2. 暮らしの書（出展11名） 3. パッチワーク①（出展5名） 4. パッチワーク②（出展9名） 5. 絵手紙（出展12名） 6. 着物きつけ（出品4名） 7. 水墨画（出品7名） 8. 池の坊（生け花 出品5名） 9. 押し花（出品4名） 10. こども書写（出展11名） 11. 深雪アートフラワー（出品7名） 12. フォト講座（出品9名） 13. フォト写輪（出品9名） 14. 鈴鹿竹の会（出展4名） 15. グラスアート（出品6名） 16. にじいろ（出品17名）

③活動紹介 1. SSE健康サロン（12名） 2. よるヨガ（15名） 3. ふるさと探検隊（13名） 4. なかよしクッキング（10名） 5. ふれあいクッキング（9名） 6. ボディーメイクヨガ（10名） 7. 3B体操（5名） 8. 太極気功（7名）

以下、写真で当日の雰囲気を伝えします。



秋祭の「おどり舞台」 45年振りに更新

須賀の秋まつり

コロナも納まりかけて、河曲では10月7～8日が野辺、竹野、山辺はじめ各地区の4年ぶりの秋まつり集中週間でした。須賀では今回、写真のように、軽量鉄骨で組み上げた踊り舞台を45年ぶりに作り替え、8日の本番に備えました。

もともと須賀は米作りにはどこにも負けまいと熱心でしたが、獅子舞とか盆踊りとか、伝承文化とは縁の薄い地区でした。

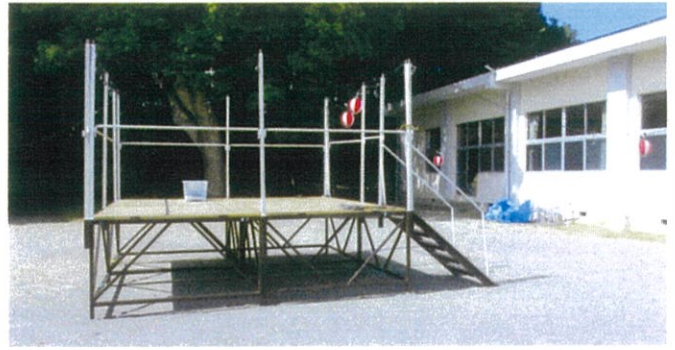
昭和50年、伊勢国体があった時、開会式を盛り上げるため、三重県から各市町村に、マスゲーム要員養成の声がかかって、みんなで一緒に踊るという「文化の風」が各地区に吹きました。

これが契機となり、須賀ではその風に押されて、有志の方々が集まって、「うちの村には祭はあっても、なんにもない、この際、年越しを寿ぎ、神社で伊勢音頭を奉納しよう」との話がまとまりました。「年越し踊り」の始まりで、その年の大晦日、西尾鈴子さん、藤井（松林）妙子さんら11名が記念すべき年越し踊りを奉納しました。

舞台で踊る

ついで秋祭に時期を移し、舞台を作って踊るまではすぐに展開しました。しかし舞台は木製でした。4年後の夏、松林優総代から鉄材加工の工場を経営していた松林久一さんに、しっかりした長持ちする鉄骨の舞台をつくってくれんかや、との依頼がありました。

依頼は夏のおわり頃でした。久一さんはすぐ



に、盆踊りを済ませたあと、未だ木製舞台が片付けられていない神戸本多町の広場へ走り、寸法をとり、帰ってその寸法通りの3.6m四方の鉄骨製のソックリさんを製作しました。

二人で運べる4分割舞台

そして45年の間、須賀の幼年層から老人層まで、みんなこの鉄骨舞台上で踊りました。

難点はひとつ、3.6m四方の一体成型ゆえに重すぎて、準備や片付けに人手が要ることでした。

今回の更新の目玉は、軽量で準備後片付けともに二人で出来ること、でした。仕事は鉄材加工のプロの村田照彦さんに頼みました。発注は数年前に済ませていたのですが、コロナで動けず、動かずで、やっと今年、縛りが解けて、上の写真のとおり、1.8m四方の4つの小舞台から成る組合わせ舞台が仕上がりました。

事前に、村田照彦さんの指導のもとで自治会長、神社総代、前農家総代、筆者の4人（平均年齢75.25歳）で組み立てたのですが、一時間たらずで出来上がりました。

下の写真は7日の準備日の全体練習の様子です。あいにく8日の午後は雨のため、紅白幕の飾り立てや本番の踊りはできませんでした。しかし3年間のブランクあとで、初めて舞台デビューとなった子達が沢山いて、楽しそうでした。



河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』第15号 令和5年12月20日 発行
発行責任者 河曲地区地域づくり協議会 事務局長
事務局 河曲公民館内「地域部屋」電 059-390-1295

